

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公開番号】特開 2005-153487(P2005-153487A)  
 【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-023  
 【出願番号】特願 2004-4725(P2004-4725)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/00 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/50 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/52 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 9 月 20 日 (2006.9.20)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

支持体上に平均二次粒子径 500nm 以下の無機微粒子及び樹脂バインダーを含有する少なくとも 1 層のインク受容層を設けた記録材料において、該インク受容層がホウ素化合物及び一級アミノ基を分子内に 2 個以上有する化合物を含有し、且つ樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有することを特徴とするインクジェット用記録材料。

【請求項 2】

前記樹脂バインダーとして、ケト基を有する樹脂バインダー及び未変成ポリビニルアルコールを含有し、ケト基を有する樹脂バインダーと未変成ポリビニルアルコールの質量比が 3/7 ~ 7/3 であることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット用記録材料。

【請求項 3】

支持体上に平均二次粒子径 500nm 以下の無機微粒子及び樹脂バインダーを含有する少なくとも 1 層のインク受容層を設けたインクジェット用記録材料の製造方法において、支持体に、ホウ素化合物及び一級アミノ基を分子内に 2 個以上有する化合物を含有し、且つ樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有する塗工液を塗布し、10 以下の冷風で塗工液をゲル化させた後、乾燥終了点の温度が 50 以上で乾燥することを特徴とするインクジェット用記録材料の製造方法。